O

特集:

文◎茶木

環

撮影◎織本知之

世界遺産・**高野山**と**南海電鉄**

平成27年、 国内外からたくさんの観光客が訪れている。 世界遺産登録以降は、海外での評価も高まり 開創 1200年を迎える高野山

他の観光地・参詣地にはない、 **高野山という聖地の魅力を深め、** 「高野山」ならではの魅力 高野山の魅力を伝え、

高野山観光に尽力する。

それぞれの立場で、高野山に心を寄せる皆さんにお話を伺った。

高野山 間を大切にしてほしい での、ゆったりとした

宿泊を伴う方が減り、 び続けることに変わりはない。 産に登録された当初は、 くなった。大分落ち着いたが、 大きく変わったものもある。「時間」だ。 ただしい旅行客も多かった」 人々がこの真言密教の聖地に足を運 高野山で過ごされる時間が短い。 何カ所も日帰りで回るような慌 高野山と熊野・白浜というよ 日帰りの方が多 高野山だけで 世界遺 しかし、

ない。 てが完了しているかのように思えてなら 最近の日本人の旅行は、「行った」「見 的地に到着したことですべ

あれば、 しかし 思いがある ということー いう意。 こはしっかり分けていただきたいという 観光という言葉は ~見物~ 本来の観光という意味合いで 高野山も観光地で構わない。 に来るところではない 「観光』と 「見物」、 そ ″光を観る″と

や朝の平穏など、非日常の時間に 高野山の魅力の一つに、夜の静けさ の体

観光から

を休め、 を過ごすことになる。ゆっくりと身体 6時からで、 るものだ。 ケジュールから解放されてこそ味わえ 験がある。それは、 朝早く起床する。 宿坊の夜の食事はだいたい その後は長く静かな時間 慌ただしいタイムス

と味わっていただきたい」

かえって、

外国人観光客の方が高野

常生活とは非なる雰囲気を、

ゆ

つくり

る場所ではないか 高野山は、日本人本来の姿に回帰でき 野山でなら、それを味わうことができる。 間の過ごし方ができなくなったが、高 本人の日常生活であり、 だった。忙しい現代社会ではそんな時 しかし、 数十年前まではそれが日 時間の使い方

ことも少なくない。

観光の仕方について考えさせられる

高野山での過ごし方を見て、

日本人

国人観光客が足を運ぶ。外国人観光客

の5年間、

毎年30%増という勢いで外

いるとも思う。

世界遺産登録などをきっかけに、

ح

山でのゆったりとした時間を味わって

得られるものではない。その空気、 よって得るものは、写真や映像などで 義に過ごす。 朝の勤行に参加し、 その場所に実際に身を置くことに 朝の時間を有意 日

もいるが、外国の方々は参拝する。

神

聖なものに対する敬意が根づき、

本人の中には見物だけになっている人

を費やしている。奥之院などでは、

日

できる範囲内で宿泊し、

ゆっくり時間

を済ませていらっしゃっている。滞在

外国の方々は、事前に丹念な下調

高野山真言宗 総本山金剛峯寺 邦彦 宗務総長公室

薮 Hogen YABU

MINTETSU SUMMER 2010 18

特集

世界遺産・**高野山**と**南海電鉄**

くりと沿線の活性化に地域と取り組む



金剛峯寺は高野山真言宗の総本山で座主の住寺

高野山をあえて選んで訪れている。

るのではないだろうか」 のを求めて、わざわざ足を運ばれてい が一体化した世界がある。そうしたも しかし、高野山は山上に、寺院と自然 群が建ち並び、日常とつながっている。 あるが、 「寺社自体は京都や奈良にもたくさん 寺社の敷地を一歩出るとビル

周知は大きな意味で一つの布教

性が大きなインパクトを与えた。 あの高野山がカフェを開く、その意外 峯寺は南海電鉄とともに、東京·青山 に「高野山カフェ」を出店した。青山で、 平成19年、 高野山真言宗総本山金剛

> がどこの宗旨か分からない人も多いが あるいは、 接触れる機会が少ない方に、 た。 なるかもしれない。それだけでも、 だったのか、考えてもらうきっかけに 報を知っていただくことができるだろう。 コンセプトに非常に魅かれるものがあっ 味わっていただく〟ということ、その が正直な思いだった。しかし、本物を 価値はあると考えた_ そうした方々に自分の家の宗旨が何 仏事や寺院に関心はあるものの直 どこまでできるのだろうかというの 若い世代の中には自分の家 本物の情 やる

も行った。 経や瞑想の体験指導、 ではなく、 カフェといっても、単なる飲食だけ 高野山の僧侶たちによる写 精進料理の講義

「写経に興味を持たれる方が非常に

ない試みを行っており、 事に関することが若い世代にも少し伝 わったのではないかと考えている。 た。同時期、他の宗旨でもそれまでに 「高野山カフェ」は青山で3年続き、 宗教やその行

多いことに驚いた。また、こういう機

会を増やしてほしいという声が多かっ

今年はさらに趣向を凝らし実施する予 「これまで年配者が多かった高野山に

で提供していきたいと考えている」 験していただける機会を、 が見られるようになってきた。 には高野山独自でも、 若い世代の小人数旅行の姿 本物を知り、 首都圏など 将来的 体

は観光の場ではなく布教の場であると せると懸念する声もあり、 いう批判も耳にする。 方で、 聖地に物見遊山の見物客が押し寄 高野山の観光が促進される さらに寺院

٤

祖の思いでもあるかと思う。若干なり り続けているものがあるのだということ 思う。弘法大師の偉大さや高野山が守 何 から発展していく可能性がある 第一歩になると考えている。それが宗 を感じていただければ、それが布教の とも関心を持っていただければ、 か心に持って帰っていただければと 「最初は、観光でも構わない。そこで

高野山地域に貢献しようと精力的に取 切なことだと考えている。 南海電鉄は、高野山を知らしめよう、

野山の周知活動は必要であり、

大

ちづくりも活発に進めていらっしゃる までにないもので、そうした活動による メディアへの掲載などPR活動もこれ り組み、 高野山の周知の高まりも出てきている と思う 高野線の起点となる難波のま

迎える。現在、 伽藍の中門の再建事業が進められてい るところだ。 保14 (1843) 年に焼失した、 高野山はまもなく開創1200 その記念事業として天 壇上

年御遠忌には51日間で約37万8000 人が入山したという。 昭和9年、 弘法大師御入定1 100

ている。 月2日から5月21日までの50日間には、 大法会が毎日執り行われることになっ 開創1200年にあたる平成27年4



の人が訪れ高野山を体感した「高野山カフェ」 (写真提供:南海電気鉄道株式会社)

異文化と交流し、 よりよりよい方向

さまざまな情報を提供している。 揃え、外国人観光客に高野山に関する 各種外国語パンフレットや資料を取り インフォメーションセンター」がある。 〇法人高野山異文化交流ネットワーク (KCCN)が運営する「高野山ビジター 金剛峯寺の高野山大師教会内にNP



NPO法人

高野山

を外国人に

理解してもらうには、 説明できる 高野山を訪ねてくれた彼らに高野山を 状況だった。 人がいない

"伝える" 責任があるのに

迎え入れる側に

容を広げようと20年、特定非営利活動 明案内が中心だったが、さらに活動内 録された翌年の平成17年、 法人格を取得、 ガイドクラブを発足。 改編した。 高野山が世界遺産に登 主に高野山の説 高野山通訳

化、 といろいろな質問を受ける。歴史や文 何?べこれはどんな意味があるの? いていない外国人観光客から、これは 案内で回っていると、ガイドがつ 行事や伝統一 一高野山の情報を提

うどその頃、 趣味で」、高野山の勉強を続けていた。 英会話講師を務めるかたわら、「半分 高野山が世界遺産に登録された、ちょ 松山代表は、学生の頃から異文化理 国際交流活動に取り組んできた。 金剛峯寺の前で外国人観

らない。と言う て、と私が声をかけると、自分は分か のがたくさんあるのだからきちんと伝え もない。゙ちょっと待って、素晴らしいも いから帰ろうって言っている。とんで 「大学生が外国人に、ここには何もな

大学生に代わって説明し、案内した。

光客と大学生のやりとりを耳にした。 一人観光客のための情報セン

「外国人観光客は、 山内を歩き、ゆっ

味を味わい、 観光の醍醐 くり見て回 高野 Щ

異文化交

の文化の奥深さに改めて気づかされた との交流を通じて、私たちの方が日本 までじっくり観賞している。海外の方々 強をしてくる人が多いことも特徴だ。 の滞在型の旅を楽しんでいる」 仏教を哲学としてとらえ、事前 山門の装飾や梁の構造まで、隅々 教わることも多い に勉

よく見かける。 ある。地図を片手に苦労している姿も 名前など、 漢字が読めない外国人観光客は、 課題は、宗教と観光との兼ね合いだ。 で判断するしかない。寺院の 似た響きの言葉はたくさん 言葉

境づくりに貢献していきたい

じた」 供する場が望まれていると感

国人に伝えるKCCNの活動 交通手段の利用方法など、 使わせてもらえることになっ た。高野山の観光や道案内 高野山の歴史・文化を外 高野山大師教会の一室を 布教活動にも通じるとし

ターとして活動。主に英語で対応して 僧侶の通訳も務める。 いる。また、宗教に関する質疑応答には、

を大切にしてほしい。 を進めている。でも高野山は、一山 を損なわない工夫が大切」 とつにも配慮し、 内地』の考えに基づき、町全体の調和 日本の観光地はどこも外国 町全体としての魅力 道案内の看板ひ 語 表記

境

敬意を示してくれる。 すれば、異なる文化のその伝統に対し、 考えている。 古式に則ることは崩せない砦だ。 僧侶が英語で法会を行う必要はない。 いくら外国人が増えたからといって、 正しい知識に基づき説明 そう、

高野山·

本来

会に感謝し、共に心地よく過ごせる環 点は、改善を呼びかけていきたい。 交流し、 織の名前のように異文化を持つものが 者になるつもりはない。けれども不便な らう努力や、誠心誠意おもてなしを ではなく、自分たちの軸をしっかり持 ることが大切だと思う。外国人の代弁 訪れる人や時代の流れに迎合するの 高野山の文化・基準を理解しても 訪れた人も迎える方も 期



出会った外国人観光客に気さくに声をかける

特集:

世界遺産・高野山と南海電鉄

鉄道の魅力づくりと沿線の活性化に地域と取り組む



和歌山県伊都振興局 地域振興部 部長

古田雅昭 Masaaki FURUTA

ふもとの活

ツ」。、柿のフィナンシェ、、梅まき柿 タイアップや橋本駅・極楽橋駅での販 創造センターや地域内の菓子店で販売 売も検討しているところだ。 しており、南海高野線の「天空」との など9点を商品化。昨年の春から産業 口ブランド」づくりが進められている。 現在、誕生しているのは「高野スイー

づくりのヘラ竿があり、パイル織物もあ 桃などのフルーツに卵。 ものでは全国シェアの90%を占める手 日本一の柿を筆頭に、ミカンやブドウ・ 一伊都地方は特産品が多い。 高野スイーツに続く二つ目、三つ 知る人ぞ知る 生産量 や茶屋が軒を並べていた。 が遠路の疲れを癒し身体を清める宿場

地域づくりを

伊都地方とは橋本市、

高野町、

九度

かつらぎ町の1市3町を指す。

高野山観光につながる

うとしている」 もとづいた新しいブランドがつくられよ につながる現代の、高野七口、を目指 の心は今も息づいており、高野山観光 して、地域の歴史や自然、 した歴史を持っている。そのもてなし 「ふもとの町は、高野詣でを支え発達 生活文化に

ランド(ジャンル)の名産品「高野七 ターが中心となり、 どで構成する伊都・橋本産業創造セン 伊都地方の商工会議所・商工会な 高野七口にちなんだ7ブ 行政、 南海電鉄の

ばれていた。ふもとには、高野詣での人々 の参詣登山道が開け、「高野七口」と呼 高野街道には、

高野山に入山する七つ

京都や熊野、奈良、大阪方面から続く 高野山とそのふもとの地域だ。古来、

められている。 内では、おもてなし、のまちづくりが進 野山への旅の行き帰りに途中下車し、 ふもとでも楽しんでもらいたいと、地域

取り組んでいる。 部の養成、 海電鉄が協働で町並みを整備し、 の地である同町では、 例えば、九度山町。真田幸村ゆかり 住民、

5日までの期間、端午の節句にちなん また昨年からは、 4月1日から5月

目の七口ブランドの早々の立ち上げが

ブランド品の開発だけではなく、 高

紀州真田そばの開発などに 行政と南 語り

うという催しだ。 と地元住民との談笑を楽しんでもらお を展示している。観光客に人形めぐり 手持ちの五月人形や鎧兜、 民家や商店など68カ所(平成22年)に、 自らの企画によるもので、まちなかの だ「町家の人形めぐり」を開催。 雛人形など 住民

とは、 こと。これは地域にとって非常に有利 で 10 に戻る。一つのいい成功モデルになっ 発し、まちなかをぐるっと一周して駅 たと思う。高野線の橋本から極楽橋ま で町家の人形めぐり、は、 の駅があるが、駅があるというこ 他所から人が来てくれるという 駅から出

る。観光も含めて、今後も駅を活かし た地域づくりをしていきたい」 協力的で、ごうや花鉄道、のプロジェ なことで、鉄道と駅は地域の大きな財 クトと一緒にいろいろな取り組みができ 産にほかならない。南海電鉄はとても

心 みは、 だけではなく、人々の生きがいにもなる。 イフスタイルを提供する地域にしていき れをキーワードに観光・生きがい・ラ き生きとした生活をすることだが、こ に参加していることだという。 人に訪れてもらいたいというもてなしの ゙ウェルネス〟とは心も身体も健康で生 この地域の取り組みの大きな特徴 商業者や住民のさまざまな取り組 住民が自ら発案し、活動に積極的 町の誇りが熱意につながっている。 地域の活性化に効果をもたらす 大勢の

名産の柿を使った あんぽ柿や ジャムなど

「高野スイーツ」を紹介する 地域振興部企画産業課の深江久美子主事